

本時のねらい

縄文・弥生時代の写真を比べ変わったところに気づき、またその変化と今の生活とを比べ、気になることや疑問に思ったことをまとめる

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

縄文～弥生～古墳時代の写真を比べた中で疑問に思ったことについて、これからの学習の見通しや計画を自ら立てることをねらった。一人一台のタブレットを大型モニターに映してそれぞれの考えを発表する活動を通して、社会科の見方・考え方につながる気づきを全体で共有することをねらった。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレットPC ・大型モニター ・Google クラウドスライド ・Google ドキュメント ・Google フォーム

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○大昔のイメージを発表する ○縄文弥生時代の写真をクラウドスライドから取り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメントに縄文と弥生時代の2枚の写真を貼り付け、直接書き込めるようにしておく
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代と弥生時代のイラストを見比べ、2つの時代の生活で異なる部分を見つける。 ・今の生活と比べるよう促し、大昔の暮らしの様子について疑問を持たせる ○全体で共有する ・友達の発表を聞いて、新たな気づきがあれば、違うペンでかく ・学習した課題は提出用と保存用の2種類で保存する 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドスライドに送信した課題に直接ペンで書き込む ・印をつけたり、字を書き込んだりする ・線でつなぐなど、分かりやすい工夫している児童のものを大型モニターで映し、参考にさせる ・あまり気づいていないポイント（服、土器、農耕と稲作など）に気づいている児童の作品を大型モニターに映す ・課題を送信してしまうと自分の端末に残らないので、自分の端末にも保存できるように最後にスクリーンショットで残す
まとめ (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習での疑問や興味を持ったことをGoogleフォームで書き出す ・2枚の写真から疑問に思ったことや、大昔のことについてもっと知りたいことをフォームで送る ○フォームで振り返りを書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォームで学習内容の疑問や興味を持ったことを集約するとともに、疑問をその場で共有する

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：縄文時代と弥生時代の写真を比べている場面



写真2：学習したことから感じた縄文・弥生・古墳時代についての疑問をフォームに入力している場面



写真3：Googleフォームでふりかえりしている様子

児童生徒の反応や変容

・画像を拡大して細かいところまで見ようとしている姿や、上下して何度も比較して違いを見つけようとする様子が見られた。
・友達の気づきにペンの色を変えて記入することで、友達の気づきに感心しつつ、自分も見つけようという児童の学ぶ意欲が高まった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・資料（縄文弥生時代の2枚の写真）を上下に並べることで比較しやすかった。
・大型モニターを使って、資料の見べき視点を共有することができた。
・フォームを活用することで、学習内容の疑問や興味を持ったことを集約し、その場で共有することができる。